

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	選択
担当教員			
永井 正幸、川勝 素子、辛島 則子、林 典子、小林 里佳			
火2			
添付ファイル			

科目の概要	<p>学習成果を発表するため、学内演奏会（プログラムは独奏・合奏・連弾などの各種アンサンブル）を開催する。公開演奏を行うことで、基礎及び応用された演奏表現・技術の確立を図る。演奏会に向けて、練習の取り組み方や楽曲へのアプローチを教授する。すべてピアノ週として授業を行い、ML形式の授業は行わない。学内演奏会に向けての取り組み以外に、個々の進度に応じたグレード別課題曲（ブルクミュラー・ソナチネアルバムなど）及び弾き歌い楽曲を教授する。</p>
授業の内容	<p>第1回 本科目の説明、演奏会曲目決定 授業の進め方について、学習目標の説明。 本科目では、以下の本学ピアノグレード課題曲及びリズム曲・弾き歌い楽曲を進度に合わせて学ぶ他、演奏会（期末実施）に向けた取り組みを行う。</p> <p>（ピアノグレード課題曲の範囲） グレード1～4：バイエル3番～105番まで複数曲 グレード5～7：ブルクミュラー、ソナチネアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から複数曲 グレード8～9：ソナチネアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から 複数曲 グレード10：自由曲</p> <p>（弾き歌い学習曲）ふるさと、もみじ、冬げしき</p> <p>学内演奏会発表曲は各担当教員と相談の上、決定する。</p> <p>第2回 演奏会発表曲（譜読み）、課題曲（譜読み） 演奏会発表曲（独奏・アンサンブルなど）を決定する。 グレード課題曲より選択された楽曲を譜読みする。</p> <p>第3回 演奏会発表曲（アンサンブルとは）、課題曲（練習方法）、弾き歌い アンサンブルについて、その発表形態や演奏効果について学ぶ。 グレード課題曲の譜読みの確認を行う他、弾き歌い課題曲の譜読みを進める。</p> <p>第4回 演奏会発表曲（演奏速度について）、課題曲（リズム・拍子の研究） 演奏会発表曲の譜読みを進める中で、練習における速度コントロールの重要性について学ぶ。 グレード課題曲におけるリズム表現の向上を図る。</p> <p>第5回 演奏会発表曲（曲想研究）、課題曲（スタッカート・レガートについて） 演奏会発表曲の楽曲研究を行う。グレード課題曲の学習ではレガートやスタッカートなどの基礎技術を確認する。</p> <p>第6回 演奏会発表曲（良いタッチとは）、課題曲（試験曲の選択）、弾き歌い 楽曲表現に適した良い響きを出すために必要なピアノのタッチについて学ぶ。 進度に合わせてグレード課題曲より試験曲を選択する。</p> <p>第7回 演奏会発表曲（音色について）、課題曲（試験曲の譜読み・効果的な練習方法） 楽曲表現に沿った多様な音色を出すために必要なピアノのタッチについて学ぶ。 グレード課題曲より選択された試験曲の譜読みを終えるとともに、練習方法について学ぶ。</p> <p>第8回 演奏会発表曲（進捗の確認）、課題曲（試験曲の曲想表現）、弾き歌い 演奏会発表曲のこれまでの学びを振り返る。 グレード系試験曲の曲想表現を研究する他、弾き歌い課題曲の学びを進める。</p> <p>第9回 演奏会発表曲（演奏技術上の課題について）、課題曲（試験曲の暗譜）、弾き歌い試験曲の決定 演奏会発表曲の演奏技術上の課題を把握し、改善を図る。 グレード系試験曲を暗譜で演奏できるようにする。弾き歌い試験曲を決定し、準備を進める。</p> <p>第10回 弾き歌い試験 弾き歌い学習曲の試験を実施する。</p> <p>第11回 課題曲試験 グレード系課題曲の試験を実施する。</p> <p>第12回 演奏会発表曲（演奏表現の考察） 演奏会発表曲の演奏表現に関して、調性・拍子・リズム・作曲の背景などを総合的に考察、演奏に繋げる。</p> <p>第13回 演奏会発表曲（暗譜） 演奏会発表曲の暗譜に取り掛かる。但し、アンサンブル形式による発表については暗譜しなくて良い。</p> <p>第14回 演奏会発表曲（通し練習） 演奏会発表曲の通し練習を行う。課題を見出し、それに従って練習を進める。</p> <p>第15回 演奏会発表曲（仕上げ） 演奏会発表曲の全体構成を最終確認する。</p> <p>定期試験 （演奏会）</p>

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した演奏技術が確立できる。</li> <li>・アンサンブルを学ぶことができる。</li> <li>・公開演奏を行うことで、目的意識を高め各課題を解決し、自己表現を高めることができる。</li> </ul>
授業の方法	実技形式。本学グレード課題曲と共に、学内演奏会発表曲を学ぶ。各教員が担当する学生グループ（4～5名）内で演奏会発表曲（独奏・アンサンブルなど）を決定する。
成績評価の方法	実技試験（演奏会・課題曲試験・弾き歌い試験）と平常点による評価。割合は、演奏会（期末実施 50%）・課題曲及び弾き歌い試験40%・平常点10%とする。
教科書・テキスト	「全訳バイエルピアノ教則本」全音 「ブルクミュラー 25の練習曲」全音 「ソナチネアルバム1 標準版」全音 「ソナタアルバム1 標準版」全音 「小学校教員養成課程用 最新初等科音楽教育法 2017年告示『小学校学習指導要領』準拠」 初等科音楽教育研究会 編 音楽之友社 演奏会用の楽譜は適宜指示する。
参考書	特に指定しない。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グレード課題曲と演奏会曲、弾き歌い曲の練習時間のバランスを考慮すること。</li> <li>・学習曲の難易度も上がってくるので、曲に関する資料を活用して楽曲研究に取り組むこと。</li> </ul>
履修上の留意事項	
オフィスアワー	木曜日2限
担当教員への連絡方法	4-603 研究室 大学メールアドレス：m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp
その他	